

市議会議員 あいざき佐和子 活動ニュース

ITAMI大好き!

vol.62

2015年11月

このチラシは、伊丹市議会議員「相崎佐和子」が、市政情報などをお届けしているニュース紙です。

毎月発行（年4回はA3・その他はA4）しており、ポストインク・駅やスーパーマーケット前での配布・郵送などでお届けしています。

現在、伊丹市議会の議長をしています。「議長って何をしているのかわからない」とのお声を頂戴することを踏まえ、この活動ニュースでは、議長公務の様子などを議員活動と同時に報告しています。



相崎佐和子

伊丹で活かせる取り組みは？ ～会派視察～

10月8日(木)9日(金)と、会派で視察に行ってきました。会派とは市議会内のグループで、相崎は「フォーラム伊丹」という会派を組んでいます。勉強熱心なメンバーばかりで、今回の視察も2日で5ヶ所を回る充実の視察となりました。 ※フォーラム伊丹(8名):川上八郎・泊照彦・桜井周・西村政明・保田憲司・山藺有理・大津留求・相崎佐和子

●東京都江戸川区「子ども未来館」

H22年、区立図書館の跡地に開館した「子ども未来館」。“子どもたちの探究活動の基地”をコンセプトに、「子どもライブラリー(子ども図書館)」「子どもアカデミー(学びや探究の場)」が整備されています。子どもアカデミーではユニーク講座を展開中。理科実験にも力を入れています。伊丹で考えると、ハードの新設はハードルが高いもののソフトは見習えるものが満載。こども向け事業を実施中の市内施設を中心に、取り入れたいものです。

●東京都庁 都立中高一貫教育校

東京都には、公立の中高一貫校が10校があります。高校受験がないゆえ、独自カリキュラムが展開でき、生徒も好きなことに取り組みます。都では、都立高校に中学を加えるパターンで一貫校を開設。施設も基本は都立高校。中学入学の際には適性検査あり。倍率5～6倍と人気があるそう。卒業後の進路状況は悪くないとのこと。公立の中高一貫校は、カリキュラム等で特色を出せば面白い学校にできそうです。市立高校を持っている伊丹市でも、今後研究を進めていきます。

●豊島区 新庁舎

豊島区はH27年に区役所を移転。新庁舎は小学校跡地に整備した池袋駅前の高層ビル内で、3～9階が区役所です(下は店舗、上は住宅)。注目は、豊島区の持ち出し金がゼロですんだこと。伊丹市役所は築40年以上であり、建て替えなどを検討する時期がきます。豊島区の事例がイコール伊丹に当てはまるわけではありませんが、特に経費を抑える観点を中心に参考にしたいと思います。

●千葉市 「ちばレポ(ちば市民協働レポート)」

「ちばレポ」とは、市民が地域課題などをスマートフォンでレポートするシステム。例えば、市民レポーターが「〇〇町の草が伸び放題」と投稿→情報をスマホやパソコンでシェア→行政や市民サポーターが草を刈り課題解決、という流れ。効果は「クローズだった情報がオープンな地域課題に」「市民の意識が主体的に」「情報提供が気軽に」など。今時でユニークなシステム。市民が気軽に声を上げられるのは重要。伊丹でも検討したいものです。



●埼玉県草加市 「幼保小中教育の連携」

草加市では、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校の交流連携を進めています。例えば、幼・保→小では一日体験入学・給食体験など、小→中では合同あいさつ運動・乗り入れ授業など。幼保小中の連携は重要であり、伊丹でも取り組んでいるところ。草加市の事例を参考にしながら、さらに充実させます。